

T20230831_02_GrandV

5G システム統合市場、2030 年に 627 億ドル

Grand View Research の調査によると、5G システム統合市場規模は、2023 - 2030 年に CAGR 28.0%成長で 2030 年に 627 億ドルに達する見込である。

US、UK、ドイツ、日本、中国など主要国で 5G ネットワークインフラストラクチャ導入への投資増が、企業全般で全 5G インフラストラクチャとアプリケーション統合需要を後押しすると予想されている。このプロセスにより機能は、全般的な複雑性低減に役立つ集中プラットフォームとして機能できるようになる。したがって、5G インフラストラクチャ構築への投資増は、5G 活用エコシステムを確立するためエスカレートするニーズと相俟って、市場の成長を促進すると予想されている。

急速なスマートシティ構築が、世界的に多数の IoT デバイスの採用を激増させた。IoT デバイスは、適切に機能するには帯域増を必要とする。したがって、第 5 世代 New Radio(NR)、サブ-6GHz や mmWave 周波数帯などをサポートする高速ブロードバンドを提供するために、これらスマートシティの全インフラストラクチャは、第 5 世代無線ネットワークに合わせてアップグレードが必要になる。したがって、2023 - 2030 年に、さらに市場の成長を促進すると予想されている。

さらに、Industry 4.0 の進化とともに、産業センサや協働ロボットの導入が、世界の製造業で拡大している。したがって、これら上述の機器にシームレスな接続性を持たせるために、製造ファシリティ全体がサポートする次世代 5G NR に適合させるに、5G システム統合サービス需要が増加すると見られている。

急増するデジタル変革が、製造産業のオペレーション全体を破壊した。これは、M2M 通信のトレンドを強化し、全般的な生産性を向上させ、全プロセスの合理化を進めた。このことは、産業センサや

ロボットとの寸断のない接続性提供のために高帯域の必要性をさらに拡大した。装置間のシームレスな通信を確立するために高帯域接続性ニーズの成長が予想されている。これは、次の数年で5G システム統合サービス需要増となる。

さらに、ネットワークスライシングやSDNなどの新しい技術の登場により5G システム統合の採用が、急増し、全般的なエンタプライズインフラストラクチャコストの低減となる。また、第5世代システム統合サービス実行には、高度な訓練を受けたプロが、必要になる。この点は、予測期間に市場の成長を遅らせる要因と見られている。

5G システム統合市場レポートのハイライト

- サービスでは、インフラストラクチャ統合セグメントが、予測期間にCAGR 29.7%の最速成長と予想されている。大規模エンタプライズは、市場での熾烈な競争を考慮して、ますます5G 活用エコシステムを重視するようになっている。これは、次の数年でインフラストラクチャ統合サービス需要を後押しすると予想されている。
- 業種では製造分野が、予測期間に最速 CAGR 30.8%の成長が見込まれている。これは、ロボットとセンサ間にシームレスな通信を提供する5G ネットワークサービス採用増によるものである。
- アプリケーションでは、産業センサセグメントが、予測期間に最速CAGR 31.0%が見込まれている。IIoT の急成長市場や様々な分野で費用対効果の高いワイヤレス接続需要急増が、セグメントの成長を後押ししている。
- 2022 年、北米が、最大収益シェアだった。その成長は、5G 活用エコシステム構築で大手エンタプライズ全体で5G システム統合サービス需要増と相俟って、主要5G プロバイダ AT&T, Inc., and T-Mobile USA, Inc,などによる5G ネットワークインフラストラクチャ導入によるものである。